

CATHARSIS



カタルシス

少年A、
その罪のゆくえ。

監督・脚本・編集 坂口香津美

出演 尾上寛之 斉藤麻衣 大高力也

山口美也子 真那胡敬二 東孝

川上麻衣子 谷口舞 園田萌絵 神尾真由子

宣伝写真提供 藤原新也

製作 スーパーサウルス 配給 アルゴ・ピクチャーズ

東京近郊の街で、14歳の少年による連続少女殺人事件が発生した。 3年後、少年院を仮退院した少年は家族と共に母親の郷里の島へと向かうが…

●神戸連続児童殺傷事件、佐賀バスジャック事件、長崎幼児殺害事件、米国コロムビア高校乱射事件等、世界中で多発するティーン・エイジャーによる犯罪。この映画は罪を犯した少年と、息子が背負った「罪」により追いつめられ、居場所を失った家族の再生と希望を見つめた物語。



●監督は、多くのTVドキュメンタリーの演出を経て、処女作「青の塔」(2003年公開予定)が各国映画祭で話題をさらった新鋭の坂口香津美。長編二作目となる本作では、自身の故郷である鹿児島県種子島を舞台に、日本的な精神風土を根底に据えながら、自然の摂理である生と死の根源的なテーマに挑んだ。

●少年の母親を演じるのは、「さらば愛しき大地」、「火垂」の体当たりの演技が絶賛されたベテラン女優・山口美也子。父親役は「オンシアター自由劇場」出身、内外の舞台で活躍の真那胡敬二。そして、主人公の加害者少年役は、ドラマ「少年H」(CX系)でその演技力が高く評価された尾上寛之。ヒロイン(少年の妹役)には、「ウルトラマンコスモス」での神秘的な美しさが話題の13歳・斉藤麻衣。叔父役に国際的な武道家(大道塾総師範)の東孝。●音楽とピアノ演奏は、「楢山節考」「影武者」「うなぎ」でカンヌ映画祭パルムドール受賞三作品の音楽を手掛けた巨匠・池辺晋一郎。ヴァイオリン演奏と特別出演は、本年度出光音楽賞受賞の17歳の国際派、神尾真由子。

●加害者少年とその家族の魂の漂流の果て、彼らの発する言葉や繊細な感情の揺らぎは、南の島の自然の移ろいの中、美しい映像に結晶した。皮膚の下に蓄り込み、魂に触れるような痛みすら伴う映像の連なりは、罪と人間、そして生きることの本質を、観る者の心に訴える。

●愛する家族が罪を犯したとき、あなたにできることは何か。罪を償うとは、「罪の浄化」はいかにして可能か。罪を犯した者に、救済はあり得るのか。加害者の家族があなたの住む街にやってきたとき、あなたはどのように彼らを迎えるのか。本作はこの重い問いかけを静かに私たちに突きつける。

少年犯罪時代を生きる私たちは、この映画全編に流れる沈黙に耐えなければならない

藤原新也(写真家・作家)



いわば罪とは、すぐれて現実的な、ひとつの刻印のごときものなのだ。だからこそ「罪」は「トラウマ」に似る。たとえ償ったのちにも、幽霊のようにとりついてくる罪の意識。これこそが、「法」によって割り切ることのできない罪の残りのものだ。「カタルシス」が描くのは、まさにこうした「罪の残余」である。「罪」を負った少年Aの後日談は、実際に20歳になった「酒鬼薔薇」少年が医療少年院から年内にも仮退院すると報じられたばかりの現在、すぐれてヴィヴィッドなテーマであるに違いない。しかし坂口監督は、そうした時事性とはきちんと距離を置いて「罪」の問題を描ききった。

ある種の罪は、個人の生さえも凌駕して継承されてゆくという、これは神話的な物語なのだ。

斎藤環(精神科医)

彼の苦しみは贖罪である。被害者たちに対して何の贖罪とも償いともなりようのない贖罪である。それ故に、一層の贖罪に感じられてくる。映画は五人の共同で、そしてそれぞれの様相をもつ各人の苦しみを会話をおさ

えた多くの場面によって——時には様式美を思わせる手法や自然描写をも用いて——豊かに表現してゆく。
河野多恵子(作家)



「カタルシス」は、東アジアからもたらされた最高に美しい花である。存在の固定点としての家族をテーマに、罪にもいつの日か終わりが訪れるのではないかを問いかける。瞑想的な映像からなる素晴らしい観る者の心を虜にする映画である。

—— ムンヒナー・メルクーア紙(独) 2003年7月5日

「カタルシス」は、暴力の恐るべき行為に対し、家族全体によって共同で行われた、暴力の後の次なる罪の浄化への悲痛なる営みについて描いた、非常に心を揺り動かされる映画である。

アレクサンダー・クルーゲ(映画監督・作家)

※ヴェネチア映画祭金獅子賞(68)ほか多数の映画賞を受賞。現代ドイツを代表する知識人。ドイツで最も権威あるビューヒナー文学賞を本年受賞。



カタルシス

CATHARSIS

「カタルシス」…語源に「罪なる魂を浄める」の意味がある
ムンヘン国際映画祭2003 正式招待

出演:尾上寛之 斉藤麻衣 大高力也 谷口舞 園田明絵 川上麻衣子
真那胡敬二 山口美也子 特別出演:東孝 神尾真由子
監督・脚本・編集:坂口香津美

音楽:池辺晋一郎(「スパイ・ソルゲ」)
撮影:長谷川貴士 照明:佐藤謙(「EUREKA」「沙羅双樹」)
音響デザイン:本田孜(「ホタル」) 録音:田中博信 スチール:遠邊俊夫
美術:松尾文子 美術協力:磯見俊裕(「ディスタンス」「トル・ロワイアルII」)
ヴァイオリン演奏:神尾真由子 ピアノ演奏:池辺晋一郎

プロデューサー:落合篤子 製作:SUPERSAURUS
配給:アルゴ・ピクチャーズ
2002年/35ミリ/カラー/ヴィスタ/113分
www.supersaurus.jp/catharsis.html

協力:鹿児島県かごしま遊楽館 鹿児島県熊毛支庁 鹿児島県観光連盟 十字屋九州船場 マリンエキスポ 国際空港連盟 大進塾 KSK熊本ソフトウェア 博宣インターナショナル アスベン 東京コンサーツ 種子島のみなさん

宣伝写真提供:藤原新也 宣伝美術:廣村正彰

04年1/31(土)より沈黙のロードショー!

連日(2/20金まで) AM. 10:20より1回上映(終12:15)

特別鑑賞券1400円好評発売中!! ■当日/一般1700円、学生1400円、高・中・小・シニア1000円

地下鉄中央線「九条駅」6番出口徒歩3分
シネ・ヌーヴォ
TEL.06-6582-1416

http://terra.zone.ne.jp/cinenouveau/

